

資料 2

平成28年度第2回
日本一の健康長寿県構想南国・香南・香美地域推進協議会

平成29年3月17日(金)18:30～
中央東福祉保健所 第2会議室

●健康づくり推進協議会開催 (2回：9月、2月) 21団体

●たばこ対策

○たばこ部会の開催 (2回：5月、2月)

○防煙の徹底<喫煙を開始させない、習慣化させない>

- ・健康づくり婦人会、ヘルスマイト等による学校等での紙芝居を利用した啓発 (36回1056人)
- ・防煙教育用啓発リーフレット作成

○禁煙(分煙)の推進<望まない受動喫煙を防ぐ環境づくり>

- ・関係団体等と連携した「地域で取り組む受動喫煙を防ぐ環境づくり」
「受動喫煙防止キャンペーン」：香美市(訪問40店舗)、本山町(訪問44店舗)

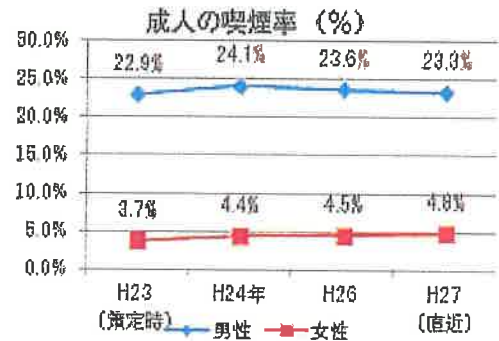
・住民ニーズの高い飲食店等の受動喫煙防止対策

「禁煙だったらうれしい場所ベストテン」リーフレットを活用した啓発→「空気もおいしい認定店」15件増加

・小中学校を含む公共機関の建物内・敷地内禁煙の徹底

○禁煙支援<禁煙する人を増やす>

- ・とさ禁煙サポーターズフォローアップ研修会(ヘルスマイト129名)
- ・健康まつり等でのPR・薬剤師会、健康づくり婦人会



市町村国保特定健診問診

●高血圧対策

○食育推進計画等の推進 (南国市第2期策定、香南市、香美市毎年協議)

○市町村の健康指標について取りまとめ、研修会開催

○高血圧対策を含めた事業所の健康づくりの推進

- ・職場の健康づくり応援研修会
- ・出前健康教室 (4回、53人)
- ・グッズ貸出し (血圧計、ハイッカー)

○減塩プロジェクトの推進 (量販店等と連携したメニュー開発、イベント等)

●歯科保健対策

○むし歯予防対策

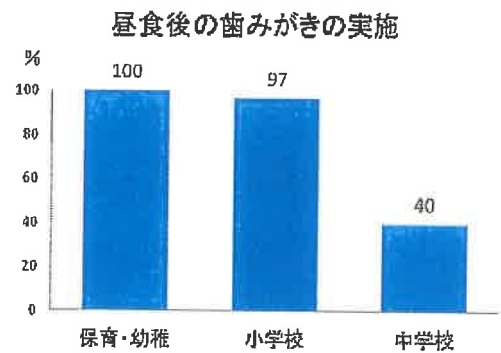
- ・フッ化物洗口実施施設拡充 (南国市：園長会、1保育園開始、香美市：園長会、学校保健委員会講習会)

○歯周病予防対策

- ・市町村特定健診の歯科保健指導により定期歯科健診受診や歯間部清掃用具の使用等歯周病予防習慣の定着
- ・保育所・小中学校での歯科保健実施状況調査 (93施設)

○高齢者等歯科保健対策

- ・在宅歯科連携室周知(県歯科医師会相談件数 H29.1月末)
H27 香美香南 1件 → 13件
土長南国 4件 → 13件



H28 保育所・小中学校歯科保健実施状況調査

●地域・職域連携推進

○事業所の健康づくり対策の推進

- ・職場の健康づくり研修会の開催(34名) 「健康経営」「健診後の保健指導」について研修グループワークから：「健康づくりは投資という考え方を役員に働きかけたい」
「勤務時間内に保健指導の時間を取りたい」
「自販機にカロリーオフ製品を置くようにしたい」
- ・出前健康教室 (7事業所13回 延べ362人)

災害医療対策中央東支部会議報告

1 平成28年度第1回災害医療対策中央東支部会議

(1) 日時 平成29年2月16日(木) 18:30～

(2) 場所 中央東福祉保健所新館2階第2会議室

(3) 協議事項

○議長の選出について

○地域ごとの医療救護活動の行動計画(目指す姿とタイムライン)について

○シンポジウム「地震・津波から助かった命を地域全体の力を結集してつなぐために」について

○災害医療対策中央東支部会議設置要領の改正について

(4) 報告事項

○各機関における平成28年度の活動実績等について

○中央東ブロック慢性透析患者災害時支援体制検討会での検討内容等について

○平成28年度第1回高知県災害医療対策本部会議について

- ・ 熊本地震への対応
- ・ 医師を対象とした災害医療研修の実施状況

2 香南市主催前方展開型・総力戦の災害救護訓練について

(1) 日時 平成29年2月19日(日) 13:15～17:30

(2) 場所 野市中央病院

(3) 参加者数 230人

シンポジウム

主催 災害医療対策中央東支部会議 高知県中央東福祉保健所
共催 土佐長岡郡医師会 香美郡医師会

地震・津波から助かった命を 地域全体の力を結集して「つなぐ」ために

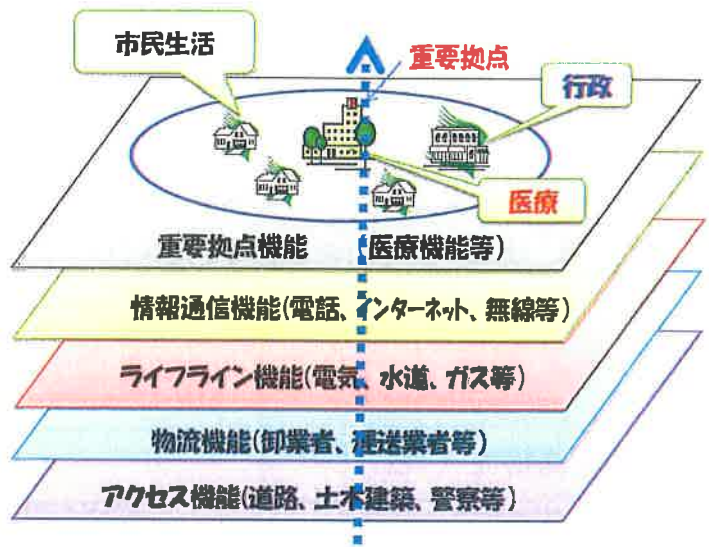
～医療版地域継続計画の概念を共通理解する～

私達の日々の暮らしと医療等の社会機能は、ライフライン、道路、物流、通信といった社会インフラの上に成り立っています。ところが、地震等の大規模災害で社会インフラが崩壊すると、その社会機能は大きく制限され、機能不全に陥ってしまいます。

しかし、そういった状況の中でも、地震・津波等の災害から助かった「命をつなぐ」ためには、医療と行政はもとより、社会インフラを支える事業者、さらには地域住民との連携協働も必要不可欠となります。

この連携協働を災害時に活かし、私達が住む地域・医療を継続していくには、関係者が協議し連携協働できるようにするための「事前準備」が必要です。

そこで、このシンポジウムでは、その「事前準備」を「医療版の地域継続計画」と名付け、「地震・津波から助かった命をつなぐ」という共通目的のもと、地域継続計画の概念や、被災地支援のプロフェッショナルである講師をお呼びしてご講演いただきます。そしてさらに、パネルディスカッションで具体的な場面を想定しながら、それぞれの立場での現状や課題、今後取り組んでいくべきことをより具体的にイメージし共有していただきたいと思います。



参加申し込み方法

※事前の申し込みが必要です。裏面の参加申込用紙に必要事項をご記入いただき、FAX 送付をお願いします。
(締め切りは3月10日(金)17:15 まで)

プログラム

13:30～ 開会あいさつ

13:40～ 講演1

「地域継続計画策定の現状と課題」

香川大学危機管理先端教育研究センター 白木渡先生

14:00～ 講演2

「医療から見た通信・ライフライン等他部門への期待」

DMAT 事務局次長 近藤久禎先生

14:20～ パネルディスカッション

「医療版地域継続計画を目指して」

[コーディネーター]

高知県中央東福祉保健所 田上豊資

[パネラー]

・香川大学危機管理先端教育研究センター 白木渡先生

・DMAT 事務局次長 近藤久禎先生

・土佐長岡郡医師会 中澤宏之先生

・南国市危機管理課

・南海トラフ地震対策中央東地域本部 他

16:20～ 閉会あいさつ



2017
3/20
月
(祝日)

参加料
無料

時間 13:30～16:30 (受付 13:00～)

会場 南国市保健福祉センター2階会議室
(南国市大桶甲320)

定員 200名

高松駅 土佐くろしお鉄道 高立駅

南国市場
ペナレス

354



JA
広域農道

55

お問い合わせ先

高知県中央東福祉保健所
〒782-0016 高知県香美市土佐山田町山田 1128-1
TEL : 0887-53-3171 (代表)
FAX : 0887-52-4561

FAX 送信先：0887-52-4561

高知県中央東福祉保健所 行

【参加申込用紙】

<シンポジウム>

地震・津波から助かった命を地域全体の力を結集して「つなぐ」ために
～医療版地域継続計画の概念を共通理解する～

と き：平成 29 年 3 月 20 日（月・祝日）13:30～16:30（受付 13:00～）

と ころ：南国市保健福祉センター 2 階会議室（南国市大堀甲 320）

お申込み締切：平成 29 年 3 月 10 日（金）17:15

※氏名、職種、所属、連絡先をご記入ください。

	氏 名	職 種	所 属
1			
	ご連絡先（TEL）		

▼ 2名以上のお申込みの場合は、以下の欄に続けてご記入ください。 ▼

	氏 名	職 種	所 属
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

— お問い合わせ先 —

高知県中央東福祉保健所

〒782-0016 高知県香美市土佐山田町山田 1128-1

TEL:0887-53-3171 (代表) FAX:0887-52-4561

(案)

南国市・香南市・香美市における
地域包括ケアシステムの構築について
～居宅(在宅等)医療・介護連携事業の実施について～

(抜粋)

三市在宅医療・介護連携推進事業実施検討会

地域包括ケアシステムの構築に向けて ～住み慣れた地域で自分らしく幸せに暮らしたい～

地域の住民(本人・家族・一般市民)の思い

- 病気や障害があってもいつまでも自分らしい暮らしができる。
 - ・介護で家族に負担をかけたくない。
 - ・いざというときが不安だ。
(地域の病院で対応できるかわからない。)
(大きい病院、施設の方が安心)
 - ・人生の最後が気になる。
 - ・利用したくても利用できるサービスが少ない。
 - ・医療や介護の制度は難しくてわからない。
(機能ごとによる医療機関の役割)
(介護認定や介護度に応じたサービスの制限)
 - ・自宅で介護するのは無理だ。
(仕事をしながらの介護は難しい。)
- ・人生の最後を考えたことがない。
- ・できるだけ少ない負担で利用したい。

地域の住民の思いを叶えるためには

自分でできること(自助)

みんなで協力してできること(互助)

■住民自身の意識向上と実践

- ・健康、介護予防知識の習得と実践
- ・住民主体の助け合い、支え合い活動の強化
- ・自身の弱みの自覚と共助への信頼(SOSの発信)

自助・互助では解決できないこと(公助・共助)

■居宅療養を担う医療・介護提供体制の充実

- ・医療・介護の資源把握と課題対応策の検討
- ・ICTによる医療介護情報共有ツールの普及啓発
- ・多職種連携の研修会による顔の見える関係づくり
- ・コーディネーター(医師会)との連携強化

■入退院の情報共有と連携の仕組みづくり

- ・入退院時の連携実態調査と入退院時の連携ルールの策定

■病状に応じた救急医療体制の確立

- ・適正な救急搬送を困難とする原因の把握と対策の検討

■地域住民への普及啓発

- ・病状に応じた医療機関を選択することの啓発
- ・在宅医療や居宅での看取りに関する理解の促進

医療・介護・行政一体で取り組む

地域支援事業による地域包括ケアシステムの構築について

地域支援事業の充実

- 生活支援・介護予防事業の充実(自助・互助)
- 認知症施策の推進
- 地域ケア会議の推進

医療と介護のネットワークの強化

- 目的を共有した関係づくり
- 医療・介護関係者等を対象として、研修会等を開催
- 南国・香南・香美地域包括ケアシステム検討会議(仮称)の開催(医師会と行政による意見交換)
- 行政と郡医師会において在宅医療・介護連携事業について意見交換を実施
- 切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築
- 入退院時の連携実態調査
- 入退院調整ルールの策定
- ICTによる医療介護情報共有ツールの普及啓発

在宅医療・介護に関する相談・情報発信・啓発

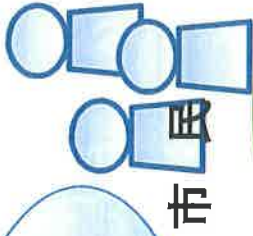
- 地域の医療・介護に関する資源調査及び情報発信
- 地域の医療・介護に関する資源調査を行い、情報発信を行う。
- 地域住民への普及啓発
- 地域の住民がさまざまな選択肢の中から、適切なものを選び決定できる視点を持つよう、普及啓発活動を行う。
- 在宅医療・介護に関する相談体制の確立
- 連携コーディネーター(仮称)による医療・介護関係者からの相談対応及び連絡調整

土佐長岡郡医師会
香美郡医師会

・医療のまとめ役

南国市・香南市・
香美市

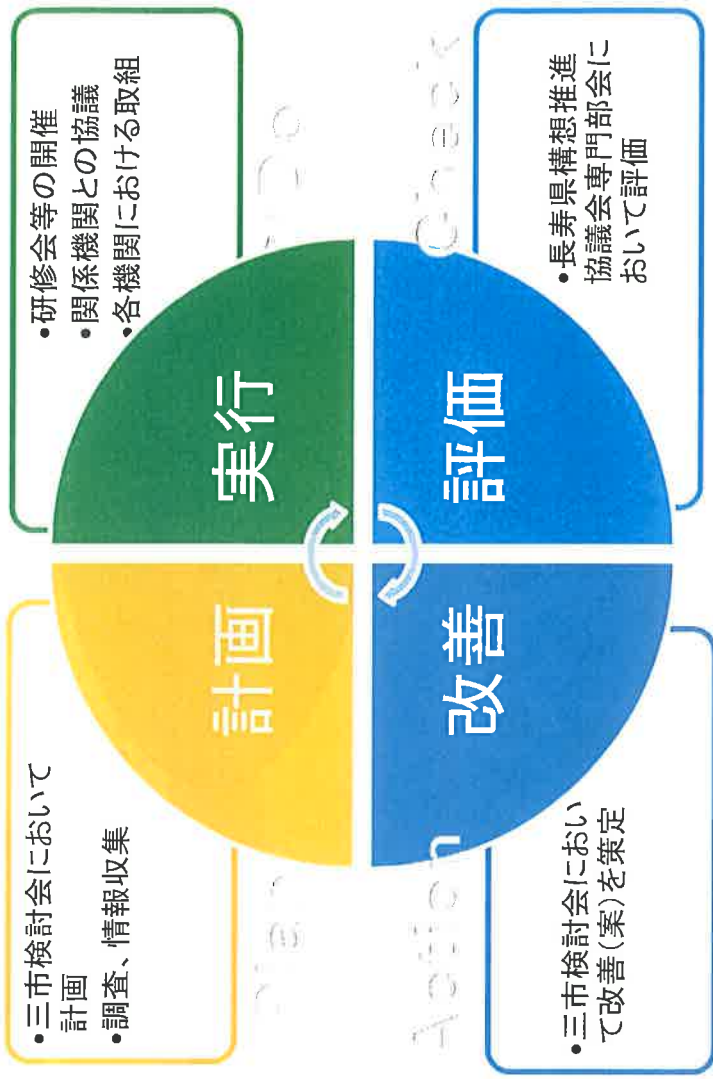
・介護・福祉のまとめ役
・企画、立案



市民

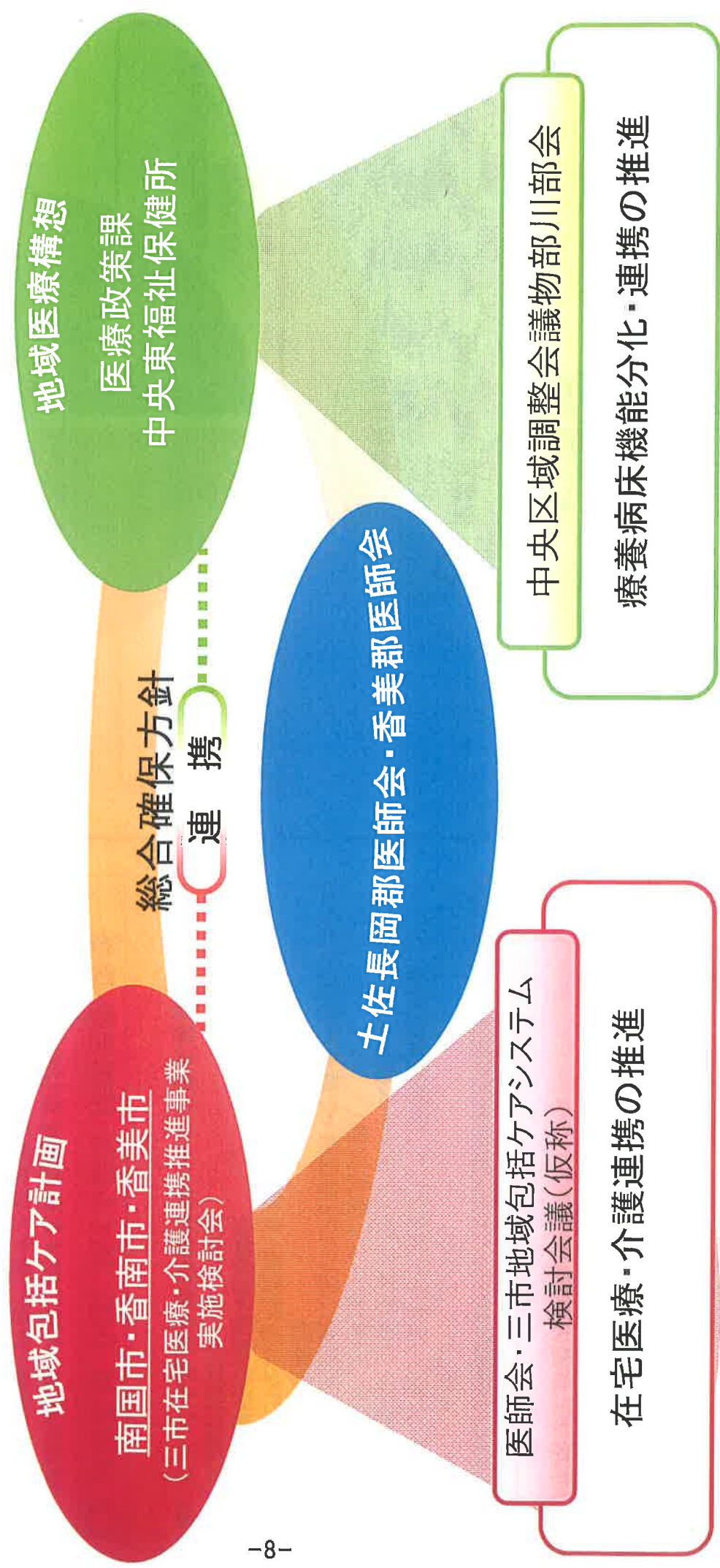
中央東福祉保健所

・広域調整
・情報提供



地域包括ケアシステムの構築に向けて（関係機関の関係）

「地域包括ケア計画」(市)と「地域医療構想」(県)を「医師会」と協働し、
2025年までに「地域包括ケアシステム」を構築



◎取り組み目標「医療・介護・福祉の連携の推進」

(1) 認知症の早期発見・早期対応に向けた在宅ケアの連携の仕組みづくり

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
土佐長岡郡 医師会		
香美郡医師会	連携パスや連携シートの利用は、まだまだ十分には周知されていない。両医師会はお東福祉保健所の指導のもと、数多くの多職種との合同講習会を開催した。残薬対策も始まり、BPSDや認知症患者を介し、介護職との対話が増えてきた。	多職種間の各種連携パスの利用を促進、普及させていく。 デイ手帳や薬手帳などに、担当ケアマネや施設名等の担当記入を進める。
土長南国 歯科医師会	南国支部歯科医師会員に呈して、事例検討会への参加、口のリハビリテーション研究会への参加を促してきました。	前期に引き続き、支部会員に事例検討会への参加、口のリハビリテーション研究会の研修の参加を促していきます。
香美・香南 歯科医師会		・在宅歯科連携室の周知 ・多職種連携の勉強会 特に南国市保健センターでの在宅復帰支援システム検討事業への参加
県薬剤師会 香長土支部	・医師会主催の多職種合同研修会への参加 ・高知家お薬プロジェクトの推進（香長土支部研修会、医師会主催の多職種研修会、JA高知病院薬剤師部主催の研修会、高知大学病院薬剤部主催の研修会、訪問看護ステーション連絡協議会、地域包括支援センターなどでの事業説明）	・医師会主催の多職種合同研修会への参加 ・高知家お薬プロジェクトの推進
県看護協会 東部2地区	地区支部研修会 H28.11.25 18:00～19:00 「認知症の症状アセスメントとケア」講師：認知症認定看護師	地区支部研修会 H29.11月頃 「認知症のある患者の看護～実践編」
県訪問看護ステーション連絡協議会 東部ブロック会	主治医、ケアマネジャーへの毎月の報告書とともに顔の見える関係で連携しています。	続行
中央東圏域 栄養士会	3月7日にスキルアップ研修会を開催（テーマ：防災と栄養・食生活）	・5月上旬に訪問介護等を対象とした高齢者向けの食事についての調理実習を開催予定 ・スキルアップのための研修会（2回予定） ・他職種による勉強会への参加

◎取り組み目標「医療・介護・福祉の連携の推進」

(1)認知症の早期発見・早期対応に向けた在宅ケアの連携の仕組みづくり

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
南国市 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職と定期的に地域訪問を行いニーズ把握や状況確認を行いました。 ・集いの場所(サロン)あったかふれあいセンターサテライトに定期的に訪問して、ニーズの掘り起し、早期発見、早期対応に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職と定期的に地域訪問を行いニーズ把握や状況確認を行います。 ・新たに情報を得る場所として、地域の新たな集いの場所(サロン)やあったかふれあいセンターのサテライト立ち上げの支援を行い、早期発見、早期対応のツールをつくる取り組みを行います。
香美市 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> *第2金曜日に認知症勉強会「ろばろば教室」において、「認知症とくすりの話」「歯科から考える認知症予防」「認知症予防の食事」の講座を開催。 *よりそい支援事業では初期集中支援推進事業と連携して個別支援に対応しサービスに繋げた。 	<ul style="list-style-type: none"> *香美市が開催する認知症勉強会「ろばろば教室」に協力 *よりそい支援事業の実施 *香美市認知症支援推進協議会が開催する勉強会への出席
中央東ブロック 介護支援専門員 連絡協議会	<p>少しずつ連絡票が活用が出来るようになってきたが、まだまだ件数は少ない。 障がい分野と連携が図れるように、平成28年10月14日「高齢者及び障がい者の個別ニーズから地域課題へ」研修会を開催した。</p>	<p>研修会の場やケアマネジャーが集まる場等にて、連絡票がもっと活用出来るように働きかけを行い、かかりつけ医との連携に努めていく。</p>
南国市	<p>初期集中支援チームの取り組みを継続してまいりました。</p>	<p>多職種連携のための研修事業(医師会に委託)、初期集中支援チームの活動は継続してまいります が、事業の考えをどのように広げていくか検討していきたい。</p>
南国市地域包括 支援センター	<p>認知症初期集中支援チーム員会を定期的に開催し、早期診断、早期対応、重症化防止に努めました。</p>	<p>認知症初期集中支援チームとかかりつけ医や関係機関との連携を深め、関係者のネットワークを強化します。</p>
香南市	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携のための勉強会、事例検討会への継続参加 ・地域ケア会議の継続 ・かかりつけ医との連携 双方向の連絡票活用の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携のための勉強会、事例検討会への継続参加 ・地域ケア会議の継続 ・かかりつけ医との連携 双方向の連絡票活用の継続

◎取り組み目標「医療・介護・福祉の連携の推進」

(1) 認知症の早期発見・早期対応に向けた在宅ケアの連携の仕組みづくり

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
香美市	認知症支援推進協議会事業継続 ・関係機関との勉強会の実施(年1回) ・3市の医療介護連携の研修参加 ・認知症勉強会(ろばろば教室)の継続 ・認知症初期集中支援推進事業の継続 ・よりそい支援事業の継続	認知症支援推進協議会事業継続 ・関係機関との勉強会の実施(年1回) ・3市の医療介護連携の研修参加 ・認知症勉強会の継続 ・認知症初期集中支援推進事業の継続 ・よりそい支援事業の継続

◎取り組み目標「医療・介護・福祉の連携の推進」

(2)在宅ケアを支えるための入院・入所施設との連携の仕組みづくり

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
土佐長岡郡 医師会		
香美郡医師会	退院前カンファレンスへの参加は、必要性は高くてもまだまだ十分とは言えない。 今後の課題である介護家族との対応は担当ケアマネ等と連携して行っている。	医療コーディネーターを介して、情報や連携を適切、スピーディーに行う。 日常的に各種連絡手帳の利用を進める。
土長南国 歯科医師会	口のリハビリテーション研究会では、多職種の方々に在宅歯科連携室の周知を図りました。	前期に引き続き、多職種の方々に事例検討会や 口のリハビリテーション研究会での在宅歯科連携室の周知を図っていきます。
香美・香南 歯科医師会		摂食えん下障害の勉強会に出席する。
県薬剤師会 香長土支部	・医師会主催の多職種合同研修会への参加 ・高知家お薬プロジェクトの推進 (香長土支部研修会、医師会主催の多職種研修会、JA高知病院薬剤師部主催の研修会、高知大学病院薬剤部主催の研修会、訪問看護ステーション連絡協議会、地域包括支援センターなどでの事業説明)	・医師会主催の多職種合同研修会への参加 ・高知家お薬プロジェクトの推進
県訪問看護ステーション連絡協議会 東部ブロック会	入院・入所時には情報提供をし、退院前カンファレンスがあれば参加し、継続看護ができるようにしています。	続行
中央東ブロック 介護支援専門員 連絡協議会	入院時ケアマネジャーから医療機関への情報提供書の提供がまだまだ少ない事が分かった。 退院前カンファレンスには参加をし、スムーズに在宅復帰が行えるように取り組んでいる。	入院時にケアマネジャーから医療機関への情報提供がもっと行えるように、働きかけを行っていく。
南国市	地域ケア会議での取り組みを継続してきました。	多職種連携のための研修事業(医師会に委託)を継続しながら、仕組みづくりへの課題を検討していきたい。
南国市地域包括 支援センター	南国市版認知症ケアパスを作成しました。ケアパスは市内全世帯に配布し、在宅ケアを支えるための広報媒体として活用します。	他職種が参加する勉強会に積極的に参加し、在宅ケアを支えるための医療、介護、福祉の連携強化に努めます。

◎取り組み目標「医療・介護・福祉の連携の推進」

(2)在宅ケアを支えるための入院・入所施設との連携の仕組みづくり

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
香南市	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種との連携の勉強会への参加継続 ・在宅医療・介護連携推進事業の委託を医師会に行い事業開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種との連携の勉強会への参加継続 ・在宅医療・介護連携推進事業の委託を医師会に行い事業実施
香美市	<ul style="list-style-type: none"> ・3市で委託する医療介護連携事業の研修への関係機関等の参加 ・ケース検討、退院前カンファレンス等の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・3市で委託する医療介護連携事業の研修への関係機関等の参加 ・ケース検討、退院前カンファレンス等の継続

◎取り組み目標「地域の見守りや支え合いの推進」

(1) 地域で認知症を理解した人が増え、支える仕組みづくり

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
土佐長岡郡 医師会		
香美郡医師会	医療機関内で認知症患者への対応や接遇の体制を伝え合っている。	認知症患者やその家族の対応を事例毎に経験し検討を加える。
香美・香南 歯科医師会		かかりつけ医と連携して咀嚼障害の改善による認知症の予防改善
県薬剤師会 香長土支部	認知症サポーターの養成	認知症サポーターの養成
県訪問看護ステーション連絡協議会 東部ブロック会	近くに住んでいる親戚にも支援してもらえるよう話し合う場を作ろうとしますが、連絡をいただけない状態です。	親戚の方の気持ちも考慮しつつ、情報発信はしていきます。
南国市 社会福祉協議会	専門職の協力を得て、認知症理解をを求める研修を行いました。特に高等学校での情報発信については、認知症、職種、専門職、仕事等の話をする事で身近に感じてもらうことができました。	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉教育の視点で幅広く情報啓発を行います。 ・社協活動の啓発(社協ホームページ、フェイスブックでの情報発信) ・認知症家族の会が中心となって、認知症カフェの運営を引き続き行います。家族会活動の普及啓発(地域包括支援センター連携)
香南市 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・社協事業の周知(社協情報・HPへの掲載、民生委員や地域の集まりでの紹介等) ・地域の見守りネットワークづくり等、地域の現状にあわせた方法の検討 ・地域の課題整理、解決方法の検討 ・明日葉会会員同士の介護相談や認知症に関する学習会開催による認知症および家族会活動の普及啓発 ・お達者教室(介護予防事業)での認知症よりそいかるた使用等による認知症に関する普及啓発 	左記の継続

◎取り組み目標「地域の見守りや支え合いの推進」

(1)地域で認知症を理解した人が増え、支える仕組みづくり

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
香美市 社会福祉協議会	<p>*第4金曜日に認知症カフェ「ろばカフェ」でイベントとして「紙芝居昔ばなし」「いきいき美容教室」「百人一首」「フルート演奏」「オカリナ演奏」などを行い、市民への広報に努めた。</p> <p>*地域からの要望に応じて出前ろばカフェを実施した(1カ所)。</p>	<p>*認知症に関する上映会の開催と協力。 * 認知症カフェ「ろばカフェ」の開催。</p> <p>*希望者にサポーター養成講座を随時開催する。</p>
中央東ブロック 介護支援専門員 連絡協議会	<p>家族や事業所が情報を共有し認知症の専門医へつなげられるように努めた。</p>	<p>認知症の疑いのある方はかかりつけ医と相談をしながら、早期に専門医へつなげられるよう努めていく。</p>
南国市	<p>左記の事業を実施しています。</p>	<p>カフェ、サポーター養成講座を継続します。</p> <p>3年前に、全職員を対象としたサポーター養成講座しましたが、その後入庁した職員を主に対象とした講座を開催したいと考えています。</p>
南国市地域包括 支援センター	<p>高校生を対象とした認知症サポーター養成講座は実施しましたが、中学生以下の養成講座は開催できませんでした。</p>	<p>認知症サポーター養成講座を計画的に開催し、認知症を理解する人を増やします。</p>
香南市	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座の継続 ・認知症カフェの実施 ・明日葉会への活動支援の継続 ・認知症徘徊模擬訓練の実施(1地区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座の継続 ・認知症カフェの実施(民間事業所への委託開始) ・明日葉会への活動支援の継続 ・認知症徘徊模擬訓練の実施(2地区)
香美市	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の集い等で健康教育や希望者へのサポーター養成講座等の実施(随時) ・よりそい支援事業の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の集い等で健康教育や希望者へのサポーター養成講座等の実施(随時) ・よりそい支援事業の継続

◎取り組み目標「地域の見守りや支え合いの推進」

(2) 認知症等の要援護者を支援する行政、専門職と住民の連携

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
土佐長岡郡 医師会		
香美郡医師会	事業所や包括も合わせての連携が、コーディネーター関連スタッフの雇用により進んできた。	包括や事業所との連携をより密にし、認知症支援の検討を行う。
県薬剤師会 香長土支部	・地域ケア会議へのアドバイザーとしての参加(南国市・香南市・香美市) ・地域の健康まつりへの参加【香美市、香南市、南国市】	・地域ケア会議へのアドバイザーとしての参加(南国市・香南市・香美市) ・地域の健康まつりへの参加【香美市、香南市、南国市】
県訪問看護ステーション連絡協議会 東部ブロック会	家族の入院で、独居になるため通所サービスを利用するよう同行しました。何とか行く事はできましたが「私はここに来てるような人みたいに暇ではないから帰らないかん」と利用にいたらず。	ケアマネジャーが中心となって、別居の家族を巻き込みながら、小規模多機能を利用できるようすすめていきます。
南国市 社会福祉協議会	地域で活動している自主組織の代表の方達と先進的な地域の視察研修を行い、自分達の活動や支援のあり方について検討を行いました。	・専門職と住民の見守り仕組みづくりを行います。 ・民協研修会等において認知症に関する学習会や情報交換を行います。
香南市 社会福祉協議会	・社協地域支援員等の訪問活動による地域情報収集および関係機関等との情報の共有 ・民協定例会等において認知症に関する学習会や情報交換の実施 ・明日葉会での認知症に関する学習会開催による認知症および家族会活動の普及啓発	左記の継続
南国市 民生委員児童委員 連絡協議会	サポーター(福祉委員)を出来る地域から進めていこうとしたが、12月委員交代が有り、部会も再編成となったため余り前身は出来ない状態です。 1月地域福祉部より各地区へのアンケートが出されました、民児協を退任した後、サポーターとして協力したいと思いますか?とのアンケートです。	2月末委員全員のアンケートの結果が提出されたら又話し合いたいと考えています。

◎取り組み目標「地域の見守りや支え合いの推進」

(2) 認知症等の要援護者を支援する行政、専門職と住民の連携

	平成28年度下半期の取り組み(成果)	平成29年度の取り組み予定
中央東ブロック 介護支援専門員 連絡協議会	地域の社会資源の把握とケアプランへの反映に努めている。	引き続き地域の社会資源の把握に努め、ケアプランへ反映していく。
南国市	認知症ケアパスを3月末に各世帯に送ることができるよう作業を進めています。	ケアパスを送ることにより、認知症への意識づくりが少し進むのではないかと考えています。認知症の方、認知症のご家族を支援していくための新たな取り組みを検討していきたい。
南国市地域包括 支援センター	地域ケア会議において認知症の方の事例を検討する機会が増加し、多職種で認知症を支援するためネットワークづくりに繋がりました。	認知症の方を支援する専門職と住民とのつなぎ役として包括支援センターが関わることで、認知症の方が地域で生活を継続できるような取り組みを推進します。
香南市	・ケアマネ連絡会での事例検討、情報交換会の継続 ・地域ケア会議の継続	・ケアマネ連絡会での事例検討、情報交換会の継続 ・地域ケア会議の継続 ・認知症初期集中支援チームの設置
香美市		啓発事業の継続